

Close Process Management

BlackLineのClose Process Managementソリューションは、決算業務を調整し迅速化するため開発されました。

帳簿を締めるのは大変です。様々なソースから集めた大量のデータを確認し、一貫性のないプロセスや管理作業など膨大な手作業を行う必要があります。スプレッドシートで作業を完成させ、メールや紙の文書を使って状況を確認するため、「追跡」せねばならず、署名はどこかのバインダーに紛れ込んでしまい、いざ監査が入った時に見つけられない。問題を引き起こす前に重大なミスを検出しながら、急いで締め切りに間に合わせるなど、事実上無理なことです。こんなことを、いつまでも続けられません。その上、財務レポートの健全性が危険にさらされます。

このソリューションは、勘定照合・月次決算処理に統制とプロセスの標準化を組み込み、「決算業務の遂行」を管理・実行するために連携して動作するツールを提供します。BlackLineは会計経理業務を管理できるカスタマイズ可能なWebベースの司令センターになり、財務決算処理の追跡・管理に必要な可視化を提供します。

タスク親子関係図

経理 見越計上 高: 固定資産税 完了



効率的・効果的な決算

決算管理

割当てから実行までのタスクを集中管理し、決算業務を標準化します。決算に関して、誰が、いつ、どこで、何を、どのように行うかに、もはや迷うことはなくなります。期限、責任の所在、プロセスが常に明確になるからです。

主な統制の強化

方針や手順、確認チェックリスト、未決算項目の自動繰り越し・年齢調べ、カスタマイズ可能なワークフロー、電子認証を組み込むことで、決算処理を標準化し統制を強化します。

決算の状況を把握

オフィスが1カ所でも、世界各地に点在している場合でも、全てのタスクのステータスと決算の進捗を把握できます。そのため、経理担当者、経理部長、CFOを含む全員が、常に現状を正確に知ることができます。

財務健全性の確保

データを1カ所で集中管理および検証し、特定の勘定科目を自動承認することで、時間に余裕が生まれ、経理部門は財務結果の完全性・正確性の確保に専念することができます。もうあれこれ思い悩む必要はありません

企業の成長に合わせて拡張

企業の成長と発展に伴い、会計経理部門への要求も増大します。決算業務の効率化を通じて、期待に添えるよう、経理機能を拡張し、企業が求めるレポートや分析を用意できます。

製品と機能

BlackLineは、別々の会計システムを統合し、完全に監査可能なクラウドベースソリューションにて会計機能の集中管理・標準化を行うことにより、業務の効率化と自動化を実現します。

勘定照合

勘定照合プロセスを標準化し、バランスシートの正確性・適切性を一貫性のある形で検証します。GL、銀行、その他のデータをすばやく比較し、差異を調査して、勘定残高を立証する附属文書を追加します。

タスク管理

レポートや勘定照合の承認を含め、社内全体の経理タスクを管理します。子タスクが完了すると、階層内のタスクを自動的に確定します。決算チェックリスト、PBCリスト、納税申告などの様々なタスク種別を管理し追跡します。

レポートの強化

レポート機能を使って、欲しい時に欲しい方法で会計データを分析します。この機能を使ってユーザーは、カスタムビューの作成、フィルター調整、フィールドの追加・削除、結果をピボット(軸変換)できます。カスタムレポートを保存して新たな情報を表示し、企業に戦略的な指針を提供できます。

サンドボックス環境

BlackLineへの投資を最大限に活用しましょう。製品、設定、データインポートなど様々な検証を行い、経理部門が毎日使っているBlackLineの本番環境を模した(けれど本番環境から完全に切り離された)クラウド環境を使うことで、変更管理プロセスを遵守できます。

決算業務の効率化

時代遅れの古臭い慣行や技術に、今こそ別れを告げましょう。財務諸表の健全性が、何より大切になっています。レガシープロセスや、ミス招きやすいスプレッドシートに任せているのは、企業の健全性、財務諸表の作成に関わらず全ての人——経理担当者、マネージャー、経理部長、CFO——の健全性が危険にさらされます。テクノロジーが、あらゆる部署の仕事の進め方に変化をもたらし、プロセスを自動化し、オペレーションを加速させ、戦略的なインテリジェンスをもたらしています。経理部門も、そのメリットを分かち合う時期が来ています。